

## 3D 薄型テレビ及び 3D パソコンの国内出荷実績について

(社)電子情報技術産業協会

2010年は「3D元年」と言われ、3D映像を表示可能な機器が注目を集め、取扱会社も増えたことから、(社)電子情報技術産業協会では、3D薄型テレビと3Dパソコンの統計を開始した。2010年9月までの実績累計値は以下の通り。

### 3D 薄型テレビ国内出荷

2010年4～9月実績	131千台
薄型テレビ全体における構成比*	1.34%

\*薄型テレビ37型以上における構成比は、4.12%

【品目定義】3D映像<sup>註1</sup>を表示するための機能が薄型テレビ本体<sup>註2</sup>に内蔵されているもの。

註1 「3D映像」とは、両眼の視差(右目と左目は離れているため右目と左目では見えている映像が異なること)原理を利用して、平面である映像や画像をディスプレイ面より前に飛び出したり、奥行きを感じるようにした動画および静止画のことをいう。

註2 別売の3Dメガネやトランスミッターを追加することで3D映像の表示が出来るものも含む。

【統計参加会社数】4社

### 3D パソコン国内出荷

2010年6～9月実績	18千台
パソコン全体における構成比	0.52%

【品目定義】3D映像<sup>註1</sup>を表示するための機能がパーソナルコンピュータ本体<sup>註2</sup>に内蔵されているもの。

註1 「3D映像」とは、両眼の視差(右目と左目は離れているため右目と左目では見えている映像が異なること)原理を利用して、平面である映像や画像をディスプレイ面より前に飛び出したり、奥行きを感じるようにした動画および静止画のことをいう。

註2 3D映像を表示するためのディスプレイをもたないが別売のディスプレイを追加することで3D映像の表示が出来るものも含む。

【統計参加会社数】4社